

ほおづえ

第4号

<< 内 容 >>

- ・会長挨拶「北陸・関東支部設立」
- ・榑場前校長の話
- ・平成8年度通常総会報告
- ・北陸支部設立総会報告
- ・関東支部設立の顛末
- ・CADって？
- ・CADの話（連載第1回）
- ・時間割について
- ・パソコンって
- ・ほおづえ会から
- ・編集後記

■ 北陸、関東支部設立 ■

会長 野手 有二

昨年の総会より懸案でありましたほおづえ会の支部設立をようやく実現することができました。本年、8月18日に北陸支部（支部長 2期 吉田康弘君）、続いて11月17日に関東支部（支部長 4期 中田良一君）が設立されました。両支部とも設立総会の時は大勢の会員が再会を祝し、昔話に大いに花が咲き、和やかななかにも大変盛り上がりまして楽しいひとときを過ごされていました。支部設立に向けてご尽力いただいた会員各位に心より御礼申し上げますとともに、今後の一層のご発展をお祈りいたします。



また、8月の総会ではかねてご案内の通り若干の会則の改定案を満場一致で可決させていただきました。本会に支部を置くこと、支部長、副支部長が本会の役員となること、全会員対象の総会が困難な場合、役員会をもって総会に代えることができること、会計年度を8月より7月までとすること等が改定案の大筋です。親睦団体ですからできるだけ身近な単位で活動していただきたいし、会則も時々現状に則したものにしたいということで改定案を上程させていただきました。会員各位にご理解をいただき誠にありがとうございました。

1996年も師走を迎え何かと慌ただしい時期となりました。今年は皆さんにとってどんな年でありましたでしょうか。ほおづえ会は実りの多い年でありました。来年も会員の皆さんに支えられて更なる発展の年でありたいと思います。ご協力の程宜しくお願いいたします。皆さんご自愛されどうか良いお年をお迎えください。

■ 榎場前校長の話 ■

私は石川高専につきましては、昭和61年から平成元年まで4年間校長として務めさせていただいたんですが、その前に石川高専が設立されました当初から土木科の方に十数年非常勤講師として、建設機械を主体に講義に参っておりました。したがって石川高専とは非常に身近な感じを抱いておまして、むしろ工学部におったよりも何か懐かしいような気がいたしております。



ただ、まあ非常勤講師であります場合はなかなか学生の顔と名前が一致しないというのが残念なこととして、今でも時々いろんな現場を見せていただきますと声をかけられですね、「榎場先生でしたね」と言われます。石川高専の卒業生の方には失礼申し上げておまして、「どなたでしたかな」と言いますと「やあ石川高専で云々」というふうなことが非常に多いんです。しかしそういっても石川高専との間には深い関係がございまして今日もこうやって遠慮なく参上したしたわけでございます。

先程、伴先生が女学生が非常に多くなって就職も大変だということを盛んにおっしゃっておるんですけども、確かに大変だとは思いますが。私、実はいま金沢、能登に宮地組というのがございまして、その会長が私の後輩でして私が高専を辞めるときに自由に私の会社の金沢の本店でひと部屋空いてますから使ってくださいと非常に厚意なことばを頂きまして、そこでいろいろと仕事ということではございせんが、勉強させていただいております。それで宮地組にも女子の卒業生が一人来ております。高専の、それから大学の卒業生も一人来ております。その様子を見ておますと、ちょっと名前を忘れましたが、男子学生のほうは2年ほどたって辞めてしまいました。しかし女子学生はしっかりと頑張っておりますね、今でも現場だ、あるいは設計だというふうにして一生懸命やっております。ですから皆さん方は先輩としてですね、女子学生を相手にされる場合には決して女性だという甘えですね、それを与えないことですね。男子と同じに。どうもやはり女の子だからというようなことがすぐ頭にくるようではございまして、そういった点は私は、宮地組の社長には決して女と思ってもらっては困るんだと、男女同権なんだから同じように仕事させなさいと。そうすれば仕事に意欲もわいてどんどん男子よりもよくなりますよ、というふうに言っておるんですが。ただまあ、これは女性ですから、妊娠することもありますし、子供を生まなくちゃならないという使命もっておりますので、それらについてはですね、これはやはり福祉的な考えからいって、宮地組の社長には、できたら近くの保育所と連携して、子供ができたときには、有給休暇とかあるいはそういったものを与えると同時に子供はそういった保育所に預けてでも仕事はできるような方策を考えておいてくださいというふうにお話をしてるんです。ですから皆さん方もですね、これから女子の社員をどんどん取っていかなくちゃならん立場になっていくと思っておりますので、そういった点は十分心に留めておいて頂きたいなというふうに思います。だいたい女子学生が増えてきましたのは私が校長をしはじめてから、どーもだいぶ増えまして、ちょっと責任を感じておますので、あらゆるところへ行って女子学生をたくさんとってくださいというふうにしてお願いをしている次第でございます（会場の笑い）。

えー、それから、まあ、話はとびますけれども、今日ほおづえ会というふうなことで参上いたしたわけでございますが、私も土木で建築を習っております最初にご案内をいただきましたときになかなかいい会の名前をつけられたなというふうに感じました。これは「ほおづえ」というのは皆さんご存じのように斜材でございます。人という字は斜材が二つ組み合わさって人という字が成り立っておりますですから同窓会の名前としてはですね、お互いに親和をしていくというふうな点からしますと非常によい名前だと感心した次第でございます、これからも皆さん方、なかよくお互いに交流して、みながよく情報を交換しながら、頑張っておきたいなと。

実は昨日、石川高専の全体の平成8年度の総会に参加いたしまして、まあ旧い先生方、あるいは皆さんがたにお会いしたんでございますが、まあ、残念なことに、やはり各学科ごとに、出席者にばらつきがございまして。特に建築はわりに少なかったんじゃないかと思っております。ほおづえ会が同学会として盛んになると同時にですね、ひとつ石川高専の全体の同窓会も応援していただいておりますね、ひいては石川高専がますます盛んになるようにですね、ご努力いただきたいというふうなふうに思います。

今日は突然参入いたしまして、いろんなことを申し上げまして恐縮でございますが、最後にほおづえ会の益々のご繁栄とひいては石川高専のですね、ご繁栄をお祈りいたしまして簡単ではございますけれどもご挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

■ ほおづえ会平成8年度通常総会報告 ■

平成8年8月18日(日)に、「ほおづえ会北陸支部設立総会」および「ほおづえ会平成8年度通常総会」がホテルニューオータニ高岡において行われましたので報告いたします。

○ 通常総会

三谷氏(7期)の司会で、ほおづえ会平成8年度通常総会が始まりました。出席者は44名、委任状は179通でした。

最初に物故会員へ追悼の意をあらわし黙禱を行いました。本会会員の17期 川崎竜治君が不慮の事故で逝去されました。そして、野手会長より挨拶がありました。今回は北陸支部および関東支部の設立などの話題、人のネットワークについてもふれられていました。



加藤氏(3期)が議長に承認され、下記の6つの議案について議事が進行了ました。



(1) 平成7年度事業報告

事務局長の本田氏(3期)が平成7年度事業報告について説明し承認されました。

(2) 平成7年度収支決算報告

本田氏が平成7年度収支決算報告について説明し承認されました。

(3) 会則の改正案

本田氏が支部設立に伴う会則の改正案を説明し承認されました。

(4) 平成8年度役員改選

本田氏が推薦された平成8年度役員を提示し承認されました。

(5) 平成8年度事業計画案

本田氏が平成8年度事業計画案について説明し承認されました。

(6) 平成8年度収支予算案

本田氏が平成8年度収支予算案について説明しました。



竹田氏(3期)より収支予算案にある支出の部の支部支援費の分配について質問がありました。これに対し本田氏は、支援費は各支部の会員数の比で分配する旨を解答しました。そして収支予算案が承認されました。

以上をもちましてほおづえ会平成8年度通常総会は無事終了いたしました。

なお、通常総会が予定より早く終了したため、懇親会までの時間、伴先生より「高専の近況について」、榎場前校長より「高専と女子学生」(別紙参照)についてお話がありました。

○ 懇親会

16時40分より、引き続き三谷氏の司会により懇親会が始まりました。出席者は48名でした。まず野手会長より挨拶があり、続きまして榎場前校長により乾杯の音頭を取っていただきました。そして歓談に入り、久しぶりの旧交を楽しみました。

また加藤氏の司会によりアトラクションとしてじゃんけんゲームがおこなわれました。勝ち残った方の自己紹介では面白い話をする人がおられ、またそれに対してほかの人が茶々を入れ、その駆け引きが面白く会場をわかせました。

最後に、伴先生により万歳三唱が行われ、以上をもちまして懇親会が終わりました。

平成7年度事業報告

- ・平成7年度通常総会（6月24日）〔金沢シティモンドホテル、参加者70名〕
- ・会報「ほおづえ」第2号発行（7月1日）
- ・懇親会（バーベキュー・津幡森林公園）（8月13日）
- ・準会員（高専学生）へ講演会（2月7日）

平成7年度収支決算報告

<収入の部>

・会費（H7年分）	3,000×329 1,500×1 1,000×161	1,149,500
・会費（H6年分）	3,000×5	15,000
・総会、パーティ費	5,000×46 3,000×24	302,000
・預り金（H8・H9年分会費）		15,000
・預金利息		526
・前年度繰越金		241,792
合 計		1,723,818

<支出の部>

・総会、パーティ費		352,500
・印刷費（広報）		78,177
・通信費（総会案内、広報、アンケート等）		242,180
・事業費		39,164
バーベキュー(3,620)、講演会講師謝礼(30,000)、FIMM・現像代(5,544)		
・事務費		60,624
・支部支援費（関東・北陸）		200,000
・会議費（会場費）		28,920
・次年度繰越金（預り金含む）		722,253
合 計		1,723,818

監査報告

監査の結果収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成8年5月1日

監査 立野雅幸
監査 長村峰行



平成8年度本部役員

会長	野手 有 二 (1期)	常任幹事	金子 哲 也 (2期)
副会長	宮川 浩 志 (2期)	常任幹事	広田 雅 之 (5期)
副会長	水上 勝 之 (8期)	常任幹事	三谷 創 (7期)
事務局長	本田 昌 義 (3期)	常任幹事	吉田 他起子 (8期)
会 計	家山 真 (14期)	常任幹事	石田 和 彦 (10期)
監 査	寺 嶋 清 人 (2期)		

平成8年度事業計画

- ・平成8年度会員名簿の発行 (9月)
- ・会報「ほおづえ」の発行 (9月, 3月)
- ・準会員 (高専学生) への講演会および支援事業

平成8年度収支予算

<収入の部>

・会 費 (正会員)	3,000 × 400	1,200,000
・会 費 (準会員)	1,000 × 200	200,000
・前年度繰越金		722,253
合 計		2,122,253

<支出の部>

・総 会 費		150,000
・印 刷 費 (名簿、広報2回)		600,000
・通 信 費 (総会案内、広報・名簿発送)		450,000
・事 業 費		100,000
・支部支援費 (北陸・関東・中部・関西各支部)		500,000
・会 議 費		50,000
・事 務 費		72,253
・積 立 金		200,000
合 計		2,122,253

第3号議案 会則の改正案

< 現 会 則 >

第1章 総則

- 第1条 本会は、石川工業高等専門学校建築学科同窓会と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、石川工業高等専門学校建築学科の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う、
1. 会員相互及び母校との連絡・親睦
 2. 会員名簿及び会報の発行
 3. 講習会・講演会・展示会・調査研究など
 4. その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 第4条 本会は、本部を石川工業高等専門学校建築学科内に置く。必要に応じ学校外に事務局を設置できる。また必要に応じ支部を置くことができる。

第2章 会員

- 第5条 本会は次の会員をもって構成する。
1. 正会員：石川工業高等専門学校建築学科の卒業生及び同校に在学した者で役員会の承認を受けたもの。
 2. 準会員：石川工業高等専門学校建築学科に在学中の者。
 3. 特別会員：石川工業高等専門学校建築学科の現教官、旧教官及び本会の推薦を受けた事務職員ならびに本会支援者。

第3章 役員

- 第6条 本会に次の役員を置く。
1. 会長 1名
 2. 副会長 若干名
 3. 事務局長 1名
 4. 会計 1名
 5. 常任幹事 若干名
 6. 幹事 若干名
 7. 監査 2名
 8. 顧問 若干名
- 第7条 本会の役員は、会員より次のように選出する。
1. 会長・副会長・監査は正会員の中から総会において互選する。
 2. 事務局長・会計・常任幹事は会長が委嘱する。
 3. 幹事は卒業年度毎に選出する。
 4. 顧問は役員会の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 本会の役員の任務は次の通りとする。
1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその会務を代行する。
 3. 事務局長は会務に係わる事務を総括する。
 4. 会計は本会の会計を担当する。
 5. 常任幹事は会務を分掌する。
 6. 幹事は役員会において評議する。又同期生の移動等について調査報告する。
 7. 監査は事業及び会計の監査をする。
 8. 顧問は会長の諮問に応じて助言を行う。
- 第9条 役員は任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

< 改 正 案 >

第1章 総則

- 第1条 本会は、石川工業高等専門学校建築学科同窓会と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、石川工業高等専門学校建築学科の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う、
1. 会員相互及び母校との連絡・親睦
 2. 会員名簿及び会報の発行
 3. 講習会・講演会・展示会・調査研究など
 4. その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 第4条 本会は、本部を石川工業高等専門学校建築学科内に置く。必要に応じ学校外に事務局を設置できる。
- 第4条の1 本会は、本部以外に次の各支部を置く。
1. 北陸支部（石川・富山・福井・新潟・長野 在住者）
 2. 関東支部（茨城・群馬・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨 在住者）
 3. 中部支部（静岡・愛知・三重・岐阜 在住者）
 4. 関西支部（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山 在住者）
 5. 上記以外の地区の在住者については、本部の所轄とする。

第2章 会員

- 第5条 本会は次の会員をもって構成する。
1. 正会員：石川工業高等専門学校建築学科の卒業生及び同校に在学した者で役員会の承認を受けたもの。
 2. 準会員：石川工業高等専門学校建築学科に在学中の者。
 3. 特別会員：石川工業高等専門学校建築学科の現教官、旧教官及び本会の推薦を受けた事務職員ならびに本会支援者。

第3章 役員

- 第6条 本会に次の役員を置く。
1. 会長 1名
 2. 副会長 若干名
 3. 事務局長 1名
 4. 会計 1名
 5. 常任幹事 若干名
 6. 各支部長 各1名
 7. 各副支部長 若干名
 8. 幹事 各卒業年度ごとに若干名
 9. 監査 1名
 10. 顧問 若干名
- 第7条 本会の役員は、会員より次のように選出する。
1. 会長・副会長・監査は正会員の中から総会において互選する。
 2. 事務局長・会計・常任幹事は会長が委嘱する。
 3. 各支部長・副支部長は各支部において選出する。
 4. 幹事は卒業年度毎に選出する。
 5. 顧問は役員会の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 本会の役員の任務は次の通りとする。
1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその会務を代行する。
 3. 事務局長は会務に係わる事務を総括する。
 4. 会計は本会の会計を担当する。
 5. 常任幹事は会務を分掌する。
 6. 各支部長は支部を代表し、支部活動を総括する。
 7. 各副支部長は支部長を補佐し、支部長事故ある時は代行する。
 8. 幹事は同期生の移動等について調査報告し、同期生への連絡等を行う。
 9. 監査は事業及び会計の監査をする。
 10. 顧問は会長の諮問に応じて助言を行う。
- 第9条 役員は任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第4章 総会

- 第10条 本会は、1年に1回定例総会を開く。必要に応じて臨時総会を会長が開くことができる。
- 第11条 次の事項は、総会に報告あるいは審議しなければならない。
1. 会則の改正
 2. 事業計画
 3. 予算及び決算
 4. 会長・副会長・監査の選出
 5. その他会務に関する重要事項
- 第12条 議事の審議決定には、出席会員の過半数の同意を必要とする。

第5章 役員会

- 第13条 役員会は役員を以て組織し、総会に提出する議案の作成、議会の決議、その他本会運営のすべての必要事項を協議し処理する。
- 第14条 役員会は次により会長が召集する。
1. 会長が必要と認めたとき。
 2. 役員会構成員の3分の1以上の要求があったとき。
- 第15条 役員会の議長は会長がこれにあたる。
- 第16条 議事の審議決定には、役員会構成員の過半数を必要とする。

第6章 委員会

- 第17条 本会には、必要に応じて委員会を設置することができる。
- 第18条 委員会の設置・活動は、役員会で審議し、総会へ報告を行うものとする。

第7章 会計

- 第19条 本会の会計は、入会金・会費・寄付金その他雑収入をもってこれにあてる。
- 第20条 正会員は年会費として3,000円を納入するものとする。
- 第21条 準会員は年会費として1,000円を納入するものとする。
- 第22条 特別会員については別途定めるものとする。
- 第23条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 付則

- 第24条 この会の運営に必要な事項は細則によって定める。
- 第25条 この会則は平成6年9月23日より施行する。

第4章 総会

- 第10条 本会は、1年に1回定例総会を開く。必要に応じて臨時総会を会長が開くことができる。定例総会を開くことができないときは、役員会を以て総会に代えることができる。
- 第11条 次の事項は、総会に報告あるいは審議しなければならない。
1. 会則の改正
 2. 事業計画
 3. 予算及び決算
 4. 会長・副会長・監査の選出
 5. その他会務に関する重要事項
- 第12条 議事の審議決定には、出席会員の過半数の同意を必要とする。

第5章 役員会

- 第13条 役員会は会長・副会長・事務局長・会計・常任幹事・各支部長を以て組織し、総会に提出する議案の作成、議会の決議、その他本会運営のすべての必要事項を協議し処理する。
- 第14条 役員会は次により会長が召集する。
1. 会長が必要と認めたとき。
 2. 役員会構成員の3分の1以上の要求があったとき。
- 第15条 役員会の議長は会長がこれにあたる。
- 第16条 議事の審議決定には、役員会構成員の過半数を必要とする。

第6章 委員会

- 第17条 本会には、必要に応じて委員会を設置することができる。
- 第18条 委員会の設置・活動は、役員会で審議し、総会へ報告を行うものとする。

第7章 会計

- 第19条 本会の会計は、入会金・会費・寄付金その他雑収入をもってこれにあてる。
- 第20条 正会員は年会費として3,000円を納入するものとする。
- 第21条 準会員は年会費として1,000円を納入するものとする。
- 第22条 特別会員については別途定めるものとする。
- 第23条 本会の会計年度は毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

第8章 付則

- 第24条 この会の運営に必要な事項は細則によって定める。
- 第25条 この会則は平成6年9月23日より施行する。
2. この会則は平成8年8月18日改正する。

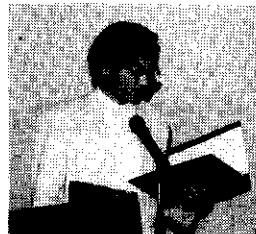
■ ほおづえ会北陸支部設立総会報告 ■

15時より、通常総会に先立ち石田氏（10期）の司会で「ほおづえ会北陸支部設立総会」が始まりました。出席者は42名、委任状は102通でした。

まず最初に、本部副会長の宮川氏（2期）が北陸支部設立の経過説明をおこないました。

○ 宮川氏の経過説明要約

平成6年9月23日にほおづえ会がスタートした時点で北陸支部およびその他の支部の必要性は当然理解されていましたが、本部の体制を固めてから各支部を設立しようというのが大方の意見でした。当初、支部は東日本、東海、西日本の3支部として設立を目指していました。そのため各支部設立では責任者を選び、設立のための準備をお願いしました。中でも関東支部の方が々に準備をされ、そして活発に活動をしていました。昨年度平成7年度の総会で出された動議の中に、北陸支部設立を早急にというものがありました。また、アンケートの結果でも、北陸支部設立を早急にやるべきだという意見が約半数を締めておりました。これらの意見ののっとり北陸支部設立に向け、6月27日に第1回の設立準備会を開きました。その後、第2回の設立準備会を7月11日に開き、そして本日設立総会に至りました。



水上氏(8期)が議長に承認され、下記の3つの議案について議事が進行了しました。

(1) 支部会則案承認の件

藤坂氏(2期)がほおづえ会北陸支部会則案を朗読し承認されました。

(2) 支部役員選任の件

同じく藤坂氏が推薦された支部役員名を提示し、また各期に支部幹事を設けるということを説明し承認されました。

(3) 平成8年度支部事業計画案

同じく藤坂氏が今年度の支部事業計画は、懇親会（2、3回）と見学会の開催を計画していることを説明し承認されました。

すべての議事が終了した後、支部長に選出された吉田氏（2期）より就任の挨拶がありました。

○ 吉田氏の就任挨拶要約

吉田氏は、まず設立準備に協力していただいた方々に感謝の意をあらわしました。そして、北陸支部には900名近くの会員のうち半数以上の450名もが北陸支部に在籍し、その状況で支部の活動が会員それぞれのコミュニケーションの場となって、今後ますます幅広くほおづえ会が存続するよう望んでいました。また、そのために精一杯頑張りたいという旨を述べられました。



以上をもちましてほおづえ会北陸支部設立総会は終了いたしました。

北陸支部会則

(総則)

第1条 本会は石川工業高等専門学校建築学科同窓会北陸支部と称する。

第2条 本会は支部会員相互の親睦を図ることを目的とし、その目的を達成するために必要な事業を行う。

(会員)

第3条 本会は、石川県・富山県・福井県・新潟県・長野県在住者を会員とする。

(役員)

第4条 本会に次の役員を置く。

1. 支部長 1名
2. 副支部長 若干名
3. 運営委員 若干名
4. 監査 1名
5. 顧問 若干名

第5条 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(総会)

第6条 本会は、1年に1回定例総会を開く。必要に応じて臨時総会を開くことができる。

(役員会)

第7条 役員会は支部長・副支部長・会計・運営委員を以て組織する。役員会は総会に提出する議案の作成、議会の議決、本会の目的を達成するために必要な事業等を行う。

(会計)

第8条 本会は年会費は徴収せず、各事業毎に会費を徴収する。

第9条 本会の会計年度は毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(付則)

第10条 この会則は平成8年8月18日より施行する。

北陸支部役員

支部長	吉田康弘(2)	運営委員	新 裕考(12)
副支部長	藤坂邦彦(2)	〃	家山 真(14)
〃	山内 隆(4)	〃	戸水雅之(14)
運営委員	山口孝芳(1)	〃	川崎吉造(16)
〃	加藤明博(3)	〃	山岸 学(16)
〃	竹田敏信(3)	〃	富樫吉規(20)
〃	酒井 治(4)	〃	今崎宮土里(21)
〃	谷崎茂樹(6)	〃	坪野小枝子(21)
〃	居島正樹(7)	〃	前田智代(21)
〃	松浦 弥(7)	〃	杉谷信幸(22)
〃	越野 明(9)	監 査	谷保 学(3)
〃	横井嘉邦(10)	顧 問	伴 俊明

各期支部幹事

1 期	中川常雄	山口孝芳	
2 期	吉田康弘	藤坂邦彦	
3 期	加藤明博	竹田敏信	谷保 学
4 期	酒井 治	山内 隆	
5 期	松本 勝	西谷 清	
6 期	谷崎茂樹	中江政志	波多野 勝
7 期	居島正樹	松浦 弥	
8 期	藤岡 豊	松田祐一	
9 期	北島秀夫	越野 明	
1 0 期	横井嘉邦	若本美和	
1 1 期	石村聖一郎		
1 2 期	新 裕考		
1 3 期	山田雄一		
1 4 期	家山 真	戸水雅之	
1 5 期	松原祥哲	宮川秀隆	
1 6 期	川崎吉造	山岸 学	
1 7 期	小坂智珠子	高桑克尚	
1 8 期			
1 9 期			
2 0 期	富樫吉規	林晃一郎	
2 1 期	今崎宮土里	坪野小枝子	前田智代
2 2 期	杉谷信幸	村井優子	

平成 8 年度事業計画案

懇親会(2～3回)と見学会の開催を計画しております。

■ 関東支部設立の顛末 ■

2期：伊藤信一郎

同期の今村君が（設立しようとしている）本部で発起人兼常任幹事をしていて、「関東でも作ったれや」と（結構、重く）呼び掛けて来たのが、94年の8月4日。「イイヨ」と（軽く）同意したのがウンノツキで、私はいつもこれで後悔。皆様も軽口にご用心。1ヶ月後に送られて来た同窓生名簿のゲラを見ながら、無作為抽出であちこちに電話したのが同年9月の中頃。しかし、顔も名前も知らない間柄ゆえ、英語教材の電話セールスと思われたり、なにやらいかがわしいモノの販売かと思われたりでうんと難航。それでも11月には若い後輩3人と新宿で酒を飲んで副会長を押し付けてしまう。で、人集めやその他をこの若い人達にも手伝ってもらって12月6日には第1回幹事会を仰々しく、やっぱり最初から赤字を出しながら敢行。これひとえに、飲んで騒ぐ事を無上の楽しみとする、私メの悪癖。正式名称がやたら長いので略称の「すじ会」をこの時から使用。ここで何故か19人も会員が集まってしまって、このメンバーが増えたり減ったりしながら、ほぼ、2年間の幹事会のメンバーとなる。幹事会はのっけから難航に継ぐ難航、というのはウソで、難航しているのかどうかさえ定かでない。連絡網も、お金も、ルールも、もちろんそうそう暇もない、会社のFAXは使えない、そもそも何をしたらいいのか誰も判らない、の6ナイ環境で、しかし、少しずつでも顔を合わせる回数が多くなれば、それなりに人間関係ができてくるものの様で（メンバーに感謝、感謝）事務局や会報や、定例幹事会（4回/年）のルールができてからは（方杖会はどうでもいいから）遊びの会へと少しずつ変質、さらに呑み会の回数が増えていくのでした。サークル活動が思いの外、順調でこれはこれで良し、と言う気もしていたが引っ掛かる事が一つ。一度くらいは関東支部設立をアナウンスしないと、まだ呼び掛けない普通の会員へ、申し訳ない気も（少しだけ）して、じゃあ、11月にでも総会をやってしまおうと幹事会で決定したのが96年春。総会プロジェクトチームの9名は新たな使命を、またしても帯びてしまって辟易。決めたのは春でも、各自が「ヤバイ」と思い始めたのは秋になってから。案内状はどうする？ 司会はどうする？ まてまて会場はどうする？ 名札は？ アトラクションは？ 会費は？ 来賓は？ 仏滅の日曜ならあいている？ そもそも何人来るんだ？ 誰も来ないかもしれない！ 立食？ 疲れる！ 無限にコピー！ 宛名印刷！ 住所不定で戻って来た！ で、このために何度も（またしても）呑み会。壮大で無謀なボランティアの結果として、やっとこの11月17日が関東支部設立総会の運びとなりました。本部会長の野手氏や関東在住の室端（元）教官もお祝いにつけてくださり、2時間半の宴会はなごやか。会場ゴージャス（広すぎた）。酒だけは沢山。（四次会の声も）人事と会則の承認の議事は予定通りたった10分、拍手で終了。支部設立を広くアナウンスする目的は総会の案内状の充実で達成していた為、総会そのものは楽しくお酒を飲む会、のつもりがしかし、無断キャンセルの嵐で、貧乏な中で自然に身についた「お賽銭ビンゴ」でも赤字が追っつかなかったという、これまでの2年間の活動の象徴的な（経理的）結末もまた一興。いつの間にかメンバーは「飢えと寒さに強い」体質に変身していたようで、さらに「総会の反省会」なる呑み会をこの27日に企画。支部長（慣行として会長と普通はいいます）などの人事も総会を機に一新、会則まで整備して、これからはフツーの支部になれる！（かもしれない）などと、一幹事に戻って、すこし気持ちが楽になって、感じております。関東に限らないと思うけれど、参加すればするほどボランティア量が増えて、もちろんたいへん、出費も当然、ある。だけど参加しなければ、楽しみも少ない訳で、どちらを選ぶかは会員の自由。建築士受験の勉強会やポツポツとビジネスの話も出てきていますが、これも親しい間柄なればこそ、のようです。日々の生活は、大事な事で満ちあふれていて、どこにも同窓会などの入る余地は無いかのように思われます。少なくとも関東の執行部や幹事のメンバー達は参加しながら考えた末に結論が出た人達だろうと思います。私についていえば「遊び友達があふれた」のであります。



北陸支部設立総会司会
石田氏（10期）



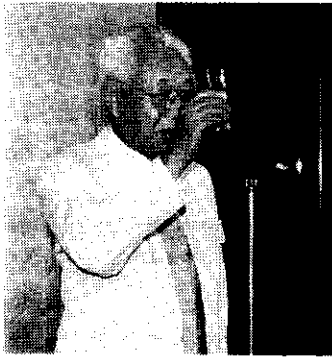
北陸支部設立総会議長
水上氏（8期）



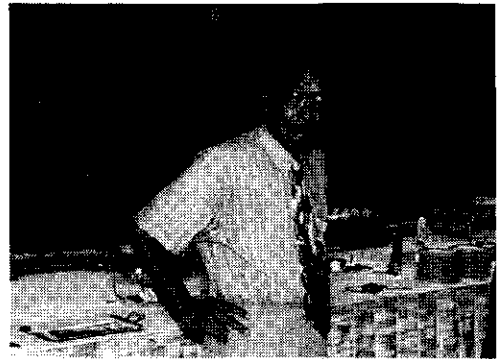
北陸支部支部長に就任した
吉田氏（2期）



執行部の皆さん



栂場前校長による乾杯



伴主任教授



アトラクション (じゃんけんゲーム)



関東支部での記念撮影
(最前列右から3人目が室端先生)

■ CADって? ■

○ CADについて

とはいえ現在使いこなしているパワーユーザーの方々に対しては笑われることしか言えないので、ここは一つ「CADに興味はあるけどどうなの?」という方々のために一言二言アドバイスにでもなれば幸いです。(いますよね?いなかったらスママセン)

ただし、どのソフトが良いとかは個人個人によるので、それはまた別の機会に譲るとして

○ あなたのCAD度は

まずは、次のうち1つでも当てはまったらCADは手放せなくなるので是非!お試しを...

- (1) 手書き文字など、キタナくてお悩みの方
- (2) 色々な場所に(事務所内外)移動して図面を描く必要のある方
- (3) 同じ記号を繰り返し描くのが面倒な方
- (4) 手書きのスピードは極めたが、さらにスピードアップしたい方
- (5) 図面は言いたいことさえ伝われば良い!という方
- (6) 大事な図面を何度も青焼に食べられた方
- (7) 製図中、何度も手を洗いにいく脂性の方

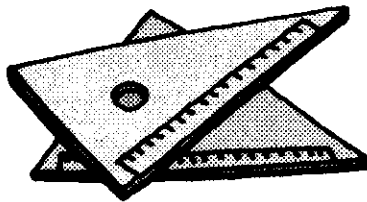
ちなみに私はなぜか(4)以外は全部該当します!!

○ CADが一番誤解を受けているらしいことについて

Computer Aided Design って CAD (コンピュータ支援による設計) のことですが、このDesign がとっても曲者で、コンピュータさえあれば、いままで手書きだとできなかったことを、勝手にやってくれると錯覚させられてしまうことがあります。

例えば、勝手にデザインしてくれる、勝手にパースができる、勝手に展開図ができる、仕上表にリンクする、法規チェックもついでにしちゃう。なんでもできちゃう。(昔はウチも本当にそう思っていました!)しかし頼んでないことは、さすがのコンピュータ様もやってくれません。(エネルギー保存の法則!?)いとも簡単にヒョイとパースができるためには、それに必要な事項をあらかじめすべて入力しておく必要があるわけですね。

どちらかという、Computer Aided Drawing とした方が良かったかなあという感じです。上記項目で悩むような人にも、晴れて綺麗な図面がいろんな場所で素早く描ける便利な道具ってところですよ、デザインまではしてくれませんよね、しつこいようですけど。



(ウチでは、「CADならではのデザイン」を確立してコンピュータが勝手に図面を描いてるぞ!という方には訂正します。ゴメンなさい)

CAD以前に、そういうことじゃなくコンピュータが苦手という方、ご心配なく、身の周りには必ず妙に詳しい変な人が1人はいます。その人を捕まえばあとは簡単、全て解決です。(何のフォローにもなってないかも^^)

ちなみに経験上、コンプレックスが多い人ほどなぜか上達がはやいようです...

■ C A D の 話 (連載第 1 回) ■

今回からこのコーナー及び広報活動のお手伝いをする事になった5期の廣田です。ほおづえ会の会員の皆様どうぞ宜しく。今回は第1回目ですので簡単な私のプロフィールでも

.....

現在私は、金沢市内の(株)廣瀬与志雄建築設計事務所に勤務しております、構造を専門にしております。現在は2つの官庁物件の監理で現場を見ながら、最近とっても旬なお仕事であります建物の耐震診断で金沢市内の消防署5つなんかを抱えて大変忙しい毎日をすごしております。

私のところの事務所では約7年前からCADを導入して現在に至っておりますが、私が現在使っているCADを使用頻度の高いものから順に羅列しますと

○ 2次元CAD

・ プレインストーム	オフエリア 3 ver.EWindows95,dos
・ ダイナウェア	D y n a CAD 3 ver.EWindows95,dos
・ 構造システム	D R A - C A D 2 V 2dos
・ jw software club	J W _ C A D ver2.1dos
・ フォトロン	頭脳 R A P I D 5 ver5.03Windows95
・ シービーユー	K I N G - C A D 2Windows95,dos

○ 3次元CAD

・ 光栄	サイクロンソリッド 3 . 0Windows95
・ Ray Corporation	design L T 3 DWindows95
・ ソーネットエクス	Stmage/3D designWindows95
・ フォトロン	頭脳 R A P I D 3 DWindows95

とまあ2次元CADはカスタマイズしやすいものを中心にコマンドの自作可能なものを選びました。コマンドの自作といってもパソコンのプログラミング知識が必要になってくる訳ですが、BASIC・C言語等を理解すれば上記CADでコマンドなり、マクロが組める様になるのですが、なかなかどうして好きじゃないと、ちと無理かもね。でもコマンド自作できるとお仕事ははかどりますよー。まあ気をつけて欲しいことはCADができることとデザインができることはイコールじゃないのでくれぐれもそのへんを理解してCADしてください。パソコン通信上でサポートしてるところのCADっていうのもバグフィックスが早いので私はそんなCAD好きです。

えー今回のお題は「インクジェットプロッタ」についてだったのですが、また次回ということで、次回は windows95 対応の CAD についてもやりましょうか・・・

今回はこのへんで・・・

E-mail	internet	mhirota@nsknet.or.jp (廣田雅之)
	Nifty-Serve	PDE01561 ひろば
	People	84139392 ひろば

■ 時間割について ■

学校を卒業して何年も経っている人はあれれと思うかもしれません。

私も190単位しっかり勉強したわけですが、別にしんどいとかいうことはなかったけど、逆に世の中にでてから建築のどの分野に進むのかわからないんだからもったいないというかそんな気がしますがいかがなものでしょうか

さて、大きく変わったことは

- (1) 時間数が少ない(単位数も減っている)
50分授業から90分授業に(平成5年から)
- (2) 土曜日がなくなった
週5日制の導入(平成4年から)
- (3) 選択科目の導入
10単位のうち5単位を履修(昭和52年度入学生から)

○ 石川高専三十年史によれば下記のように変更になっています。

	一般	専門
昭和45年度入学	週190単位(88-102)	
昭和52年度入学	週178単位(85-93)	選択科目の導入
昭和61年度入学	週179単位(85-94)	
平成4年度入学	週170単位(82-88)	学校5日制の導入
平成5年度在学	週174単位(85-89)	90分2単位となる
平成5年度在学	週170単位(81-89)	

時代を反映してか、耐震構造特性論・構造振動論がみられます。

構造の世界では年々設計体系が難しく(理論的に)なっているのは事実です。

CADの時代に対応してか図学が姿を消しています。たしかに使わなくなったのは事実ですがパスぐらいはしっかり描けるようになっていないといけませんぞ。

相変わらず、土質基礎工学(1)、情報処理(3)、建築生産(3)、工業英語(1)、地域・都市計画(1)の単位数が少ないというのはいかがであらうか?

建築=設計という時代でもないように思いますが(就職先の比率を考えてみて)

そんなことをいうと構造なんて悲しいものですよえ

- 情報処理 : これだけコンピュータを使う時代でありながら4年生からの授業というのは遅すぎはしないか
- 建築生産 : 就職はやはり施工関係(現場)が多いはずだが、まして最新の現場の知識や技術となると
- 工業英語 : 私も英語は不得意ではあるが世の中にでてからという立場から見ると専門的な英文を教材に使ってもいいんではないかなあ
- 土質基礎 : どうも建築の人間は土というものを食わず嫌いしているのかなあ
- 都市計画 : 単体の設計も必要ではあるがグローバルな設計というものもしっかり知っておく必要があるのではないだろうか
- プレゼン : 高専生は全般に表現がうまいとは思えない(はっきりいって下手)、やはりプレゼンテーションの能力を身に付けていただきたい(発表する機会をもち、しっかりした表現方法をもっと勉強すべきでしょう:卒研からでは遅すぎます)

うーん、科目も大きく変わったような、でも、よくみると変わっていないような気もするしとどのつまり、週休2日制になって学生が一番よろんでいるということですね。

平成 8 年度 後期 授業時間割表

1限	8:50 ~ 10:20	2限	10:30 ~ 12:00
3限	13:00 ~ 14:30	4限	14:40 ~ 16:10
5限 *	16:10 ~ 16:55		

(1年)	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	物理	保健体育	国語	英語G	造形
2限	国語	建築構造	地理	化学	歴史
3限	英語R	建築史	基礎数学A	基礎数学B	美術
4限	基礎数学A	設計製図*	特活		英語LL
(2年)	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	構造力学	英語R	国語	倫理	解析 1
2限	建築構造	代数	解析 1	物理	保健体育
3限	設計製図	理科	化学	独語	歴史
4限	設計製図		特活	英語G	
(3年)	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	英語	解析 2	環境工学	解析 2	建築計画
2限	構造力学	政治経済	RC構造	保健体育	応用数学A
3限	測量学	英会話	設計製図	独語	設計製図
4限		応用物理	特活	国語	設計製図
(4年)	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	建築生産	RC構造	設計製図	鉄骨構造	構造力学
2限	建築設備	環境工学	設計製図	日本文学	応用数学演習
3限	哲学	英語講義	設計製図	保健体育	建築計画
4限	課題演習			情報処理	
(5年)	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	住居論	構造振動	構造実験	応用環境工学	防災工学
2限	建築設備	計画演習	建築設備	英語講義	設計製図
3限	設計製図	耐震構造特性論	建築法規	構造設計	卒業研究
4限	設計製図	卒業研究*			卒業研究

■ パソコンって ■

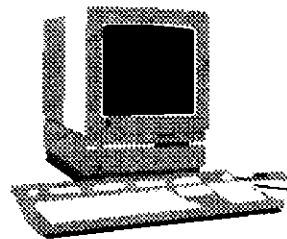
世間では、昨年9月から一般の人でも使えるようなインターネットのサービスが始まりました。つづいて11月にはあの「Windows 95」が発売され、年末にかけてパソコンがかなり普及することとなりました。なんでもできるように思えるパソコンですが実際はどうなのでしょう

○ パソコンってどんな種類があるの

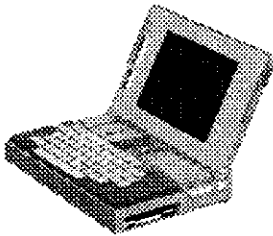
パソコンは用途や形で大きく4つに分けることができます。ごく一般的なのが「デスクトップ型」、直訳すれば机の上に置いて使うコンピューターということになる。本体とディスプレイ（画面の部分）がわかれています。これに対応するのが、近ごろ増えてきた「一体型」本体（CPU）とディスプレイが一緒になっているので場所を取らないし、他のタイプのものと比べると配線も少なくてすみます。どちらかというとな業務向けに近いのが「タワー型」、傾向としては高性能な演算能力をもち拡張性に優れています。通常の使用にはここまでの性能は必要ありませんが、グラフィックや映像の処理に使われています。どうしても持ち運べないと困るという方には「ノートブック」、アメリカではその昔「ラップトップ（膝の上）」とも呼ばれていました。まだまだ液晶（表示部分）の値段が高く、他のタイプから比べると割高感があります。なかにはデスクトップ型を超える性能のものも出てきています。



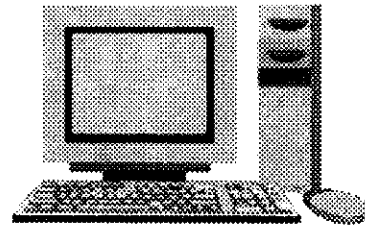
デスクトップ



一体型



ノートブック



タワー型

○ OSって

ソフトの話にはいる前にOS（オペレーティングシステム）の話をしてします。パソコンの世界では、コンピュータの種類によっていくつかのOSがあります。

アップル（Macintosh）

・MAC OS (SYSTEM7.5)

DOS/V（98を含む）

・DOS

・Windows 3.1

・Windows 95

・Windows NT

これらは、どれもソフトを動作させる環境や機能を提供するもので、OS単体では簡単な機能は持ってはいませんが、ソフトがないとなにもできません。これは本当の話

コンピュータ、ソフトなければただの箱

○ パソコンのソフトもいろいろありますよ

ソフトは、業務・趣味などなど色々な分野に至るまで探せば面白いソフトがいっぱいあります。ここでは、一般的に使われているソフトを紹介しましょう。

表計算

家計簿や住所録を作ったりもできます。使いこなせば青色申告もできます。

データベース

住所録や伝票処理など、かなり高度なことまでできます。
ほおづえ会の名簿のこれらのソフトで管理されています。

ワープロ

ワープロ専用機もかなり高度な機能を搭載するようになりました。
他のソフトとデータのやり取りを行うことで簡単に絵や表を作ることができます。
この広報もしっかりワープロソフトで作られています。

CAD

建築といえば、やっぱりCADですよ。
CADのためにコンピュータを導入した事務所が多いのではないのでしょうか

インターネット

話題的には、インターネットが一番でしょう
メールのやり取りや情報を検索できるようになると面白さもいっそう増します。
WWWだけがインターネットでは有りません。あしからず

○ パソコンの落とし穴

いいことばかり書いてきたようですが思わぬ落とし穴があったりします。ソフトを使おうとしたら「メモリ」が足りなかったり、機種が対応していなかったり、近ごろでは新製品の出る間隔が2～6カ月になり半年も立つと最新の機種も半額程度になったりします。パソコンを買うときは店員のいうこと（店員もほとんどわかっていない）を信じずによく知っている知人と一緒に買いに行きましょう。安かろう悪かろうにならないように注意して下さい。ついでに、買ったけど使いこなせない人は、詳しい知人を捕まえて教えてもらうか、小腹をきってコンピュータスクールに行くことをお勧めします。操作の基本や色々な使い方を教えてくれるはずですから。その前にキーボード入力は練習しておいて下さいね。

○ もういちどインターネットについて

前回、建築のホームページについて書きましたが、いまでは多くの企業、団体や個人がホームページを作っています、いまでは多すぎて欲しい情報を探すのが大変になってきました。情報を得るためには、サーチエンジン（情報検索ツール）を上手に使えるようになればとても便利です。また、建築のホームページをまとめた本も出てきました。

建築・土木・環境・まちづくり インターネットアドレスブック
学芸出版社 2,060円 ISBN4-7615-2156-2

○ とどのつまり

まずは、だまされたと思って、コンピュータやインターネットにチャレンジしてみたいかがででしょうか。でも、コンピュータって本当は道具に過ぎないんですよ。

■ ほおづえ会から ■

名簿の出版にあたり住所をチェックすると、住所の変更をされていない方が多く見られました。住所変更等がありましたら、事務局の方にお知らせ下さい。

広報に載せる記事(原稿)を募集しています。あなたの意見・感想等何でも結構です。

来年に入りますと準会員(高専学生)のための講演(パネルディスカッション)会があります、我こそはと思う方・こんなことを喋りたいという方はご連絡ください。

また、こんなことを知りたいとか同窓会はこうあるべきだ等々、ご意見を送って下さい。

次号では、関東支部の設立についての詳細をお知らせすることが出来ると思います。楽しみにしてして下さい。

■ 編集後記 ■

インターネットで利用できるサービスで、電子メールというのはなかなか便利です。距離にかかわらず、文章/グラフィック/音声/ムービーのデータを瞬時に送ることができます。何より、受け取った側はそのデータをワープロ等でそのまま利用することができ、管理・保存することもできます。今回、広報の原稿のうちいくつかはこの電子メールで送っていただきました。

ほかにもインターネットを利用したサービスは幾つもあり、これからさらに便利になっていくと思います。皆さんもインターネットを始めてみてはいかがでしょうか。

川崎 吉造 yoshizo@po2.nsknet.or.jp

コンピュータによるOA化の話です。創刊号を編集していたときは、我社でもCADってどうなの?とかいっていましたが、第4号のいまでは製図台は1台のみで、かわりに全員にコンピュータでCADを使う環境となりました。結局のところ、便利になったのか単に仕事を増やしてるだけなのか謎は残るのですが、ちょっと未来っぽくて私自身はいまを楽しんでいます。こちら広報委員会でもハイテクを駆使して(コンピュータに振り回されて)、今回も皆様にお届けしております。

山岸 学 z-yama@nsknet.or.jp

第3号の編集後記にもありましたように第4号からは私が編集長をやることになりました。顔触れは前のメンバーに私が加わっただけでして、女性が誰もいない状況です。

手伝ってくれる女性を広く募集いたします。

最初はやるぞーっていう意気込みはありましたが、なにせ私もサラリーマンでありますゆえやっぱ忙しくなっちゃう訳ですよ。しっかり今回仕事と広報の仕事ががちあってしまって他の広報委員のメンバー、とくに前編集長の三谷さんには最後の最後にレイアウトのほとんどをやってもらうということになりまして、どうも迷惑のかけっぱなしで…トホ。

でもここへきて広報のメンバー全員がインターネットメールを送受信できる状態であることを知り、なんだこれからは集まらなくてもメールのやりとりでなんとかなりそうな予感がしています。ゆくゆくは「ほおづえ会」のホームページなんて作ちゃおうかと思っているのですが、なにせほおづえ会の会員の皆様がインターネット始めてもらわないと作っても見てもらえないわけですからね。このほおづえでも三谷さんがまじめにインターネットの情報を伝えていますが、私なんぞはどうしても最初はまじめにやっているのですが、そのうち夜もふけてくると興味のある怪しいサイトのほうへどんどん引き摺り込まれてしまっ…。

皆さんも、まじめで、楽しくて、怪しいインターネットを始めてみませんか。ではではこのへんで。

広報委員長 廣田 雅之 mhirota@nsknet.or.jp

平成8年11月30日/平成8年12月発行
編集/発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局
石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内
TEL0762-62-3545 FAX0762-22-9229